通信ともに
第87号
2022年7月8日発行
認定NPO法人ともに
住所　〒044-0053
北海道虻田郡倶知安町北３条西２丁目１－１
でんわ　（0136）55−5828
ＦＡＸ　（0136）55−5829
Ｅメール　info@npo-tomoni.com
ホームページ　http://www.npo-tomoni.com　　ブログ　http://blog.canpan.info/npotomoni/

今月の一枚

梅雨空が水面（みなも）に映（はえ）る洞爺湖

6月26日　ワークショップようてい利用者Oさん撮影

共同募金の助成金　７９万円いただきました

昨年申請した赤い羽根共同募金さまの助成金が決定し、4月に振り込まれました。

平成23年に「年賀寄附金配分助成」を受けて購入した除雪機が昨年故障し動かなくなり、新たな除雪機購入の申請をしていました。
助成決定額は購入価格の8割79万円です。

倶知安の大雪はタイヤショベルや人手で対応できない場所もあり、除雪機は欠かせない存在です。この2シーズンは個人からリースし急場をしのいでいました。納車予定は10月頃で今冬の活躍が楽しみです。

共同募金さまありがとうございました。

購入予定のホンダ HSM1590i
（写真はカタログより）

あなたの句が載るかも？　～　俳句・川柳を募集します

今号から、俳句、川柳のコーナーを設けました。随時掲載します。あなたの一句ぜひお寄せください

応募方法

①コミュニティカフェわっくわくの「投稿箱」に入れる
②法人代表メール「info@npo-tomoni.com」へ送る
※ペンネームを添えて。解説があるとなお嬉しいです。

俳句・川柳について

・俳句…自然や季節を「季語」をつかって詠む
・川柳…日常や社会を５・７・５でまとめる（季語はいりません）

今回の一句詠（よ）む読む

春紅葉
あっという間に
新緑へ
北海道　山菜の女王

詠み人解説
待ちわびた春が来て山菜採りが始まり、あっという間に初夏でシーズンの終わりを感じる。

手ぬぐいの
汗をしぼれば
サウナなみ
北海道　山菜の女王

詠み人解説
6月、竹やぶで動くたびに汗だく、周りを見ればみんな濡れた頭になっていた。

動物を
観られると子を
競馬場
北海道　さかさかまぼこ

詠み人解説
父「動物園行くよ」、子「やったぁ♪」。到着後、子「お父さん、この動物園馬ばかりだね」

※今回は手始めに、発案者と編集者が詠んだ句をお届けします。

精神科医　土田正一郎の

その71　回復百態②

「硬い」回復はよく見られます。外力によってその動きを無理やり止められて、「起立、気を付け！」みたいな緊張した状態です。傍から見ると精神症状に象徴される揺らぎは止まっているので、回復しているように見えますが、揺らぎの原因がそのままで、揺らぐことだけ外力で止められているのならば本人は堪ったものではありません。邪魔が外力（薬？）を取り除きたくなっても仕方ないですね。

各事業報告～6月末日現在

障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい　契約／移行1人、B型22人

グループホーム よろこび　利用者数　20人
体験　1人

K.S.C. Juntos　当事者選手　9人
サポートスタッフ　5人

◆法人会員　正会員19人
賛助会員　団体2団体　個人33人
◆今年度寄付金　のべ6人　134,000円
◆寄付物品　牛乳パック

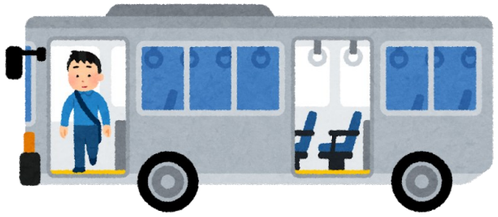
編集後記

職場復帰して4カ月が経ちました。育児と仕事の両立の中、息つく暇のない育児に心がめげそうになることがあります。その時保健師さんから言われた「人に頼ったっていいんだよ」の言葉を思い出します。育児も仕事も周りに頼りっぱなしですが、子どもと一緒に過ごせる貴重な時間を大切にし、やりくり上手の人生を歩んでいきます。（かわさき）

続報　ニセコ町も上限撤廃　～　通所交通費

第85号で精神障がい者の事業所通所交通費助成の現状をお伝えしましたが、新たな動きです。ニセコ町でも今年4月から通所交通費の上限が撤廃されました。これまでは1回の利用につき1,000円、月5,000円までと助成額が決められていましたが、条例の改正により全額ニセコ町が助成することになりました。

これで羊蹄山ろくでは、ニセコ町、蘭越町、真狩村、留寿都村が全額助成となりました。



障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい　請負作業奮闘中

昨年から蘭越町にある農場で作業を請け負っています。シミックウエル株式会社さまのシソなどの栽培の請負です。

今年度は5月から作業が始まりました。ビニールハウスにビニールをかける作業、苗の植え替え作業、そして敷地の除草作業などです。作業内容は随時シミックウエル株式会社さまと検討し、利用者の技術レベルに合った作業ができるよう協力し合っています。

利用者は新しい畑でも集中して作業をすすめています。

当法人の圃場も、安定した気温や雨量により順調に作物が成長しています。現在こちらも除草作業が中心で、暑い毎日に熱中症対策を取りながら汗を流し頑張っています。

１００メートル近くあるビニールハウス周辺の除草作業。土に刃が当たらないように適宜調整しながら前進します。

障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい　着物地帽子　売れてます！

札幌大通の地下コンコースにある「元気ショップ」で、着物地の帽子が売れています。6月には８個の発注があり、製造部は急ピッチで作り納品しました。

帽子は1個3,300円で元気ショップのほか、札幌駅西口にある「元気ショップ　いこ～る」でも販売しています。

これから暑くなる時期、帽子がかかせません。肌触りの良い着物地の帽子をぜひお買い求めください。

花壇を彩る花　６月編

わっくわく開所以来敷地を彩ってきた花壇をこのほど一新しました。町内外のお店やネットで珍しい花も見つけ、一年草や宿根草など花の種類を工夫し植えつけました。癒しの空間になればいいですね。

開所日に利用者と職員で管理しています

キンギョソウ

マリーゴールド

アリッサム

アンテミス　ワーグレーブ

デルフィニウム　チアブルー

グループホーム よろこび　弁当箱リニューアル

グループホーム利用者に提供している夕食の弁当箱を、この春リニューアルしました。

弁当は食品衛生上調理後は冷却（6月～9月は保冷剤を使用）後に配食しています。購入の食器はそのままレンジで温めることができるので、とても便利になりました。利用者が食べた後自分で洗うときも、角が丸いので洗いやすいと好評です。

以前の食器（2月8日撮影）

現在の食器（6月11日撮影）

グループホームの夕食は栄養バランスと毎日楽しめるメニューを職員が考え提供しています。通信ともにでそのようすを掲載しますので、読者のみなさんの献立づくりのヒントになれば嬉しいです。